



# JPFP Newsletter

国際人口問題議員懇談会（JPFP）事務局  
公益財団法人アジア人口・開発協会（APDA）

2024年10月

## AFPPD年次会議をバリで開催

人口と開発に関するアジア議員フォーラム（AFPPD）並びにアジア人口・開発協会（APDA; JPFP事務局）は、10月7～9日にAFPPD年次会議をインドネシア・バリで開催しました。

「AFPPDの3つの柱とICPD30以降の取り組み」をテーマに、インドネシア人口・開発議員フォーラム（IFPPD）及び国家人口家族計画庁（BKKBN）の共催、日本信託基金（JTF）、国連人口基金（UNFPA）、国際家族計画連盟（IPPF）、Family Planning 2030（FP2030）の後援を受けて開催され、アジア・太平洋地域19か国から国会議員、政府関係者、国際機関、NGO、専門家など60名以上が参集しました。

開会式では、武見敬三AFPPD議長が参加者を歓迎し、昨今のアジア太平洋地域の人口動態を鑑み、女性や少女、若者への積極的な投資や保健・教育へのアクセスの確保、そして女性と若者の起業家精神を促進することの必要性を示し、SDGsの達成には、AFPPDの役割がこれまで以上に重要になることを強調しました。IPPFからは福田友子 東・東南アジア・大洋州地域（ESEAOR）事務局長が挨拶を行い、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（SRHR：性と生殖に関する健康と権利）を推進し、女性と若者を暴力と差別から守り、高齢者の尊厳を守り活力ある高齢化の取り組みにはパートナーシップが成功の鍵であると述べました。

[詳しくはこちら](#)



## アラブ地域における人口と開発に関する議員活動支援事業

アジア人口開発協会（APDA; JPPF事務局）並びに人口と開発に関するアラブ議員フォーラム（FAPPD）は、国連人口基金（UNFPA）及び日本信託基金（JTF）の後援により、人口と開発に関する国会議員活動推進のための事業をモロッコとエジプトで開催しました。モロッコ・ラバトでは、9月23～24日に人口・開発事情に関する視察事業を行い、FAPPD代表団はモロッコ代議院（下院）議長、下院外交・国際協力委員会、連帯・社会統合・家族省大臣、青年・文化・通信省、経済・社会・環境評議会、国家人権評議会、モロッコ女性連盟らと面会し、人口開発分野の立法プロセスに関する知識や専門技術の共有推進等について協議を行いました。エジプト・カイロでは、6つの下院委員会と合同で障がい者・高齢者に関する国内議員会合を開催しました。技術革新とテクノロジーを活用して障がい者や高齢者の労働や社会参画を促し、そのための立法や環境整備について協議が行われました。FAPPD及びエジプト国会議員からは、アラブ地域の人口・開発問題解決に向けた日本政府からの一貫した支援に対し、深い感謝の意が示されました。

モロッコ人口・開発事情視察

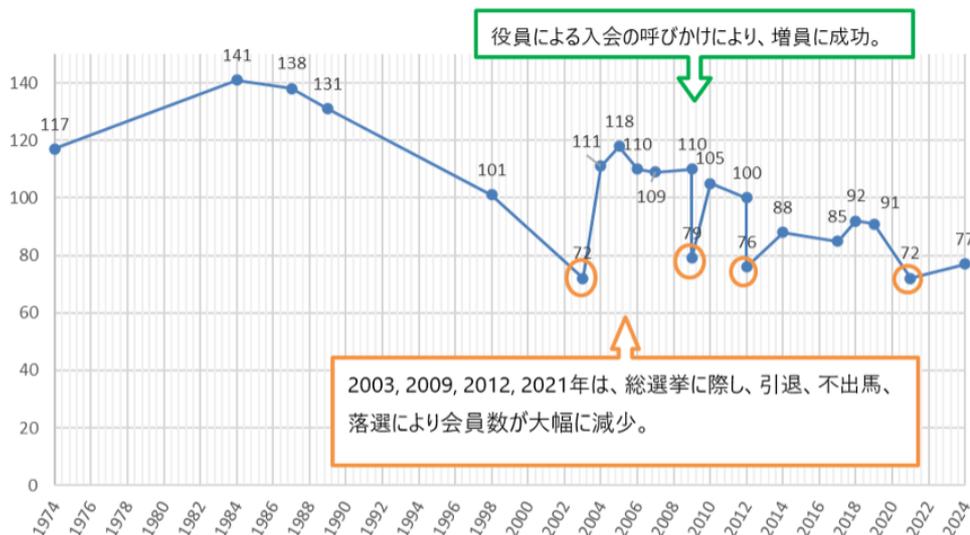
[詳しくはこちら](#)

エジプト人口と開発に関する議員活動支援事業

[詳しくはこちら](#)

## JPPF会員数の推移（1974～2024）

JPPF会員数の推移（1974年4月-2024年10月1日）



## JPFP

国際人口問題議員懇談会（JPFP）は、1974年に設立された世界で最も長い歴史を持つ人口・開発問題に関する超党派議連です。JPFPは、APDAと一体となって、人口・開発に関する議員ネットワークを作り、多様な知見や経験を共有し、具体的な成果につなげてきました。

詳しくはこちら

JPFPご入会を希望される場合は、[apda@apda.jp](mailto:apda@apda.jp)までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

## APDA

公益財団法人アジア人口・開発協会（APDA）は、1982年の設立以来、JPFPの事務局を務めています。

詳しくはこちら

本ニュースレターは、国際家族計画連盟（IPPF）並びに賛助会員の方々のご支援を受けて発行しています。



♥ 寄附・賛助金のお願い

APDAは「紺綬褒章」の公益団体に認定されています。紺綬褒章は、認定された公益法人等に公益のために私財を寄附された個人や法人に授与されます。

DONATE NOW

国際人口問題議員懇談会（JPFP）事務局  
公益財団法人アジア人口・開発協会（APDA）

〒105-0003東京都港区西新橋2-19-5-8F

TEL: 03-5405-8844 FAX: 03-5405-8845

E-mail: [apda@apda.jp](mailto:apda@apda.jp) Website: <https://www.apda.jp/>

【編集責任：APDA】



Designed with BEE